

概要:クラウド対応の製品開発

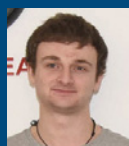
Collaborative Designer for SOLIDWORKSは、**3DEXPERIENCE®**プラットフォームを通じてSOLIDWORKS CADユーザーとそのデータをクラウドに接続します。クラウドに接続することで、日々のワークフローがどのように改善されるのでしょうか？以下では、知っておくべき情報をご紹介します。

- 1 設定が不要：** Collaborative Designer for SOLIDWORKSは、あらかじめSOLIDWORKSに組み込まれています。ライセンスが有効になると、プロジェクトを展開してクラウドに移行できる状態になります。
 - 2 コラボレーションが容易：** 設計データが接続されると、チームメンバー全員がデータを1か所で共有、反復、比較、調査、編集できるようになり、わかりやすい標準ワークフローが生まれます。
 - 3 情報の一元管理：** ファイル リビジョンの問題を回避しましょう。データおよびライフサイクル管理機能により、チームが常にリアルタイム データと正確なファイル リビジョンで作業できるようになります。
 - 4 効果的な管理：** SOLIDWORKSで作業をし続けながら、ディスカッションを開始することやタスクを割り当てることができ、プロジェクトを最大限に効率的に管理できます。
 - 5 新しいテクノロジーへのステップ アップ：** 最新バージョンのCollaborative Designer for SOLIDWORKSを自動的に使用できるようになるだけでなく、Sub-Dモデリングや高度なシミュレーションなど、3DEXPERIENCEプラットフォームで使用可能な新しいテクノロジーをチームで試すこともできます。



「今では、**Collaborative Designer for SOLIDWORKS** は当社エンジニアの日々のワークフローの一部となり、**CAD**データのライフサイクルの変更を簡単に管理するのに役立っています。これは、**SOLIDWORKS**環境から一歩も外へ出ることなく、承認済みのリビジョンとリリース済みのリビジョンへの変更を防止できていることを意味します」

- Square Robot社、シニア機械エンジニア、Charles O'Connell氏



「製品の目標と納期を達成するために、チームがどこからでも接続できる必要がありましたが、**SOLIDWORKS**との完全な統合も不可欠でした。コラボレーションを行うにあたり、**Collaborative Designer for SOLIDWORKS**と使用する、3次元CADとクラウド間の統合ソリューションを自社で保持していました。システムがすでに構成されていたため、1日以内で稼働させることができました」

- Vortex IoT社、研究開発エンジニア、Bryce Davey氏

導入を検討される場合は、販売代理店に今すぐお問い合わせください。
また、次のサイトもご覧ください：

SOLIDWORKS.com/ja/CollaborativeDesignerforSW